

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

研究課題名	COVID-19 患者におけるリハビリテーションに関する検討 —公社病院での多施設共同後ろ向きコホート研究—
所属科	荏原病院リハビリテーション科
研究責任者	中山玄康
研究期間	2021 年 5 月から 8 月
研究概要	<p>○目的 東京都保健医療公社 6 病院では重症化リスクの高い COVID-19 患者の入院を積極的に引き受けており、東京都の感染入院医療機関の中心を担っている。その医療機関では、重症化した COVID-19 患者も多く、リハビリテーション(以下リハビリ)は重要な治療の 1 つとして位置づけられている。そのリハビリの効果として、呼吸機能の改善や身体機能の改善、QOL の向上などが報告されている。しかし、本邦での大規模な COVID-19 患者に対するリハビリの実施状況や効果を報告した研究は少なく、さらなる検討が必要である。本研究の目的は、COVID-19 患者におけるリハビリの実施状況や効果を明らかにすることである。これが明らかになることで、COVID-19 患者においてリハビリの重要性を示すための一助となる可能性がある。</p> <p>○対象 対象は 2020 年 4 月～2021 年 3 月に当院で COVID-19 で入院した者とする。</p> <p>○方法 後ろ向きコホート研究とし、情報収集には電子カルテを用いる。</p> <p>○利用する項目 調査項目として、基本属性（年齢、性別、Body mass index、発症前の日常生活動作、発症前の状況、発症前の栄養摂取機能、要介護認定、喫煙歴、就業の有無、同居人の有無）、医学的情報（重症度分類、感染経路、既往歴、人工呼吸器使用の有無、体外式膜型人工肺使用の有無、入院期間、リハビリ実施の有無、リハビリ介入日までの日数、リハビリ実施日数、リハビリ 1 日平均単位数、リハビリ関与職種）、臨床指標（呼吸状態、意識レベル）、身体機能(握力、10m 歩行速度、5 回立ち上がりテスト)日常生活動作（歩行レベル、Barthel Index）、栄養摂取機能（摂食・嚥下障害患者における摂取状況のレベル、栄養摂取方法、嚥下調整食分類 2013）、転帰先（自宅、施設、転院、中止、死亡）とする。</p>

